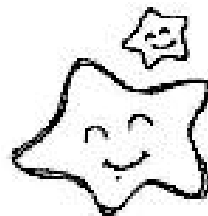


QSK
にぬふあぶし

No.330

ね
子の方向の星(北極星)



沖福連 精神保健福祉研修会

家族大会2024

10月18日(金)

14:00~16:00(13:30開場)

会場:与那原町上の森かなちホール
(与那原町上与那原16)

入場無料!
どなたでも
(事前申込不要)

大会テーマ
SOSの出し方教育

講演 安保寛明氏(山形県立保健医療大学)

『SOSの出し方教育の取り組み

山形県における自殺者減少とつながりの意味』

講師:安保寛明氏



【お問い合わせ】

公益社団法人 沖縄県精神保健福祉社会連合会(担当:ましま、ひが)

TEL.098-889-4011 FAX.098-888-5655



このイベントは『赤い羽根共同募金』の助成を受け、実施しています。

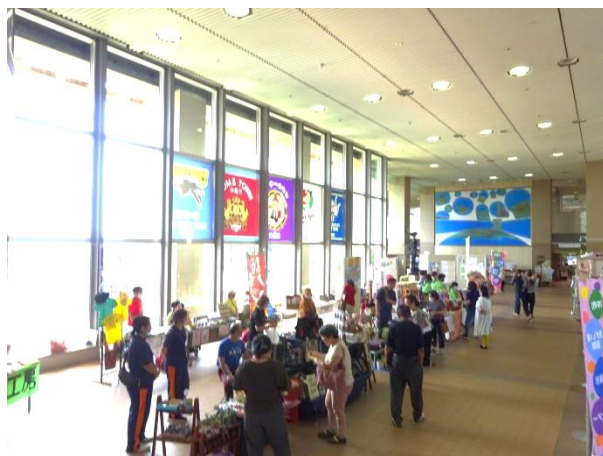
「沖縄市ハートフル福祉フェア物産展」大盛況!!

沖縄市役所庁舎の玄関フロアで、毎年恒例の福祉フェア物産展が開催されました。地域活動支援センターおきなわも参加させていただき、パンフレットや広報誌「ちむネット」で活動内容の紹介をしています。あわせて、同法人「てるしのワークセンター」のパンと紅型商品の販売をさせていただきました。

焼きたてパンの販売は大好評で、連日2時間を待たずに売り切れる状態。紅型商品は手に取ってじっくり吟味して下さる方もいらっしゃり、「沖縄市にもこんな商品があったらいいのに」という言葉も聞かれました。

パンや紅型で、地域活動支援センターおきなわブースも多くのお客さんで賑わい、法人共々、多くの方に知っていただく良い機会となりました。

ご観覧、ご購入いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



沖福連のホームページがリニューアルしました！
メインのURLは従来と変わりません。
<https://www.okifukuren.org/>

トップページのお知らせにInstagramとの連携が増えるなど、視覚的にもよりわかりやすく変わりました。本紙のバックナンバーなども引き続き掲載していますので、ぜひ一度チェックしてみてください！



石垣島に生きる 地域生活体験事業説明会のこと

増山 幸司

6月27日(木)、石垣市で開催される自立支援協議会・就労支援部会に参加するため、私たち(増山と比嘉)は朝早く那覇空港へ向けてバタバタと出発した。

が、車が走り出して間もなく、「ガソリンがない!」と比嘉さんが悲壮な声を上げる。高速道路に乗り込んだものの、見れば車のガソリンは残量1目盛を切って、既に給油ランプが点灯。やばすぎる。時間に余裕をもって出たわけではなく、そのうえ朝の道は想定以上に渋滞がひどかった。ぶっちゃけ飛行機の出発時間的にもわりと厳しい感じなのだが、それ以前に給油所まで行きつけるかがまずあやしい。

終わった! いや終わらない! 終わりかも知れないし終わらないかも知れない。

ハラハラしながら渋滞を脱し、命からがら給油所に乗りつけた頃には、私たちは1日分のうちの半分くらいの気力を消耗した気分だった。

けれどもこれこそが旅の醍醐味であり、生の実相だ。私たちは、知らないものや思いがけなさで出会うために旅に出る。生をいきる。すべてが予定通りにコントロールされた旅は、言ってみれば論理矛盾みたいなもので、そもそもつまらない。失敗、不測の事態、予定からの逸脱、そうしたトラブルやアクシデントを楽しむ気持ちこそが大切である。それが生きるということだとも思う。きっと間違いない。



『石垣市地域活動支援センターむゆる館』
“むゆる”とは、「集う」とか「拠点」の意味だそうです。

なんだかんだあって飛行機にも間に合い、石垣島に到着した私たちは、レンタカーを走らせてさっそく関係事業所巡りを開始した。今回のメインの目的は、『入院患者に対する地域生活体験事業』という私たちの実施している事業を、石垣市の就労支援部会にて広報することにある。

(次のページへ)

(前のページから)

この事業では、精神科に入院中の患者さんが病院の外で、宿泊だったり日中活動だったりの地域生活を実際に体験することができる。患者さん自身が退院後の暮らしをイメージすることを助けたり、また周囲の支援者としても退院時の状況をまず試してみることで、ぶっつけ本番ではない安心感を得ることができたりする。

石垣市でも、以前から協力事業所として登録いただいている事業所が数か所あったが、ただこれまで実際に足を運ぶことはかなわなかったので、その挨拶まわりを行なった。道中ではB型事業所『いこいの家』の神保さん(沖福連・理事)とも合流し、神保さんの知り合いの福祉事業所などにも案内してもらった。

以前、沖福連に勤めていて、いまは石垣島に暮らしている川崎裕子さんなどにも久しぶりにお会いすることができた。コーヒーとお菓子、ごちそうさまです!

そんなふうにあちこちまわりながら、時計を見れば15時半過ぎ。1時間後の就労支援部会にはまだ少しだけ時間がありそうだということで、もうひとつ事業所に電話をかけたときのことだった。相手は『グループホームなないろ』の設楽さんという方だったが、設楽さんが言うには部会は16時半ではなく16時からだという。

また同じ頃、石垣市障がい福祉課の成底さんなりそこから沖福連の事務所宛てに「あの一、まだ来ていないんですけど・・・」という確認の電話が入っていたらしい。

・・・終わった! いや終わってない!

予定通りでないアクシデントこそが生の実相である。どれだけ入念に準備をしても、本当を言えばなにが起こるかわからない。失敗上等、生きるとは逸脱だ。

『地域生活体験事業』では、退院に向けて、そんな失敗もアクシデントも、安心して味わうことができる。たいていのことは人が思っているほどどうってことはない。また失敗を通してより多くを学ぶことができるし、予定通りにコントロールされただけの旅なんてちっとも面白くない。さあ、不測の事態と出会うために街へ出よう。



なお、部会にはギリギリ間に合いました。
めっちゃくちゃ立派な石垣市役所。

ラ ッ プ
WRAP (元気回復行動プラン)



2日間集中クラス

10月19日(土)

会場：くくる系満・研修室

定員：12名(先着) 未経験者、大歓迎!

参加費：10,000円(減免の場合あり)

20日(日)

WRAP (ラップ) とは・・・

WRAPは『Wellness Recovery Action Plan』の頭文字をとったもので、日本語では「元気回復行動プラン」と訳されています。アメリカで精神症状を経験した当事者の人たちから生み出された、毎日をすこやかに心豊かに暮らすことを促してくれる、自分で作る自分のためのガイドです。

問い合わせ：WRAPぬちぐすい yansaka30@yahoo.co.jp
担当：坂本将吏 090-7397-9084



今年も「ゆいジョブ!」のイベント、「おしごと発見フェア」が開催されます!
詳細はゆいジョブ!のホームページなどをご確認ください!

おしごと発見フェア

2024 開催決定!

開催日 9/26(木)

時間 10:00~15:00

会場 沖縄コンベンションセンター 展示棟

主催 ゆいジョブ!実行委員会 公益財団法人ヤマト福祉財団

後援(予定) 沖縄県 / 沖縄県教育委員会 / 沖縄労働局 / 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄支部 沖縄県中小企業家同友会 / 沖縄経済同友会 / 沖縄県商工会議所連合会 / 沖縄県商工会連合会 (一社) 沖縄県経営者協会 / 琉球新報社 / 沖縄タイムス社



こどもぴあ沖縄 「夏のつどい2024」

精神障がい者を親に持つ、子どもの立場の方のつどいを開催します！
これまでなかなか誰にも話せなかった自分の想いを、子どもの立場の仲間と語り合しましょう。

日時：**9月15日(日)** 14時～16時

場所：沖縄市福祉文化プラザ内

おあしすコール活動室もしくはオンライン(ZOOM)

対象：統合失調症などの精神疾患がある方を親に持つ子どもの立場の方

定員：10人程度

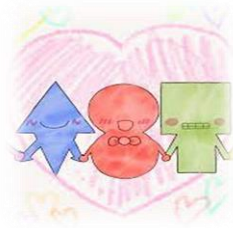
お申込期限：9月6日(金)

お申込方法：電話(月、火、木、金 午後1時～5時)、

または右のQRコードから

問い合わせ：沖縄市精神療養者家族会おあしすコール(こどもぴあ沖縄)

TEL:098-933-2011



【寄付金／賛助会員加入のお願い】

沖福連の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。
今後とも、あたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会年会費 個人1口：2千円 / 団体・法人1口：1万円

琉球銀行：南風原支店 普通口座 229887

ゆうちょ：02020-0-37037 (加入者名：公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)

◎編集後記◎

沖縄にも増して日差しのきつい台北の街には飲み物の自販機がない。そのかわり、有人のドリンクスタンドがあちこちあって、その場で新鮮な飲み物を作ってくれる。外食文化で、早朝から食べられる食堂や屋台がたくさんある。夜は各地で夜市が催されている。日本ではなんでもどんどんセルフ化していくしその孤独を快適と感じるが、台湾の人は特に食において他人と関わることがあまり億劫でないかも知れない。7月、久しぶりに台北を歩いて感じたことのひとつ。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 吾吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)